

2025年

7月のカレンダー

学びの広場

みんなのちからで39年
(今年の9月で39年目を迎えます)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
空欄の日にはマンツマンなど個別の活動をしています。空いているところに、ご自分の予定を記入してお使いください。				スタッフ ミーティング 10:15~12:45	金曜デイ 10~1時 アート	人形劇 12~2時
6	7	8	9	10	11	12
				スタッフ ミーティング	金曜デイ 10~1時 織りもの	青年の会 10~1時
13	14	15	16	17	18	19
日曜喫茶 1:30~3:00				スタッフ ミーティング	金曜デイ 10~1時 湧水巡り	
20	21	22	23	24	25	26
				スタッフ ミーティング	金曜デイ 10~1時 オレンジ	青年の会 10~1時 アート
27	28	29	30	31		
				スタッフ ミーティング		

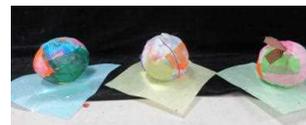
6/14 青年の会
井の頭公園



6/20 湧水巡り
お鷹の道



6月のギャラリーから
カラフル玉葱



◎ご不要のハガキ等ありましたらお譲り下さい。
ひろばの通信費になります。

★学びの広場に入室する時には、マスクの着用、手指の消毒をお願いします。また、ご家庭での検温など健康管理にご協力ください。

学びの広場

TEL&FAX 042-322-7160

H P <http://manabinohiroba.com/>

E-mail manabinohiroba.com@gmail.com

↑メールアドレス変更しました。



6/8 日曜喫茶 Kさん



Kさん
芝浜 上

みんなの掲示板

街角アート

第12回成人発達障害支援学会 東京大会



「カラフルシーサー」 Nさん



Hさん



じごくのそうべえ



久保春子さんの
作品が佳作に
選ばれました。



「支援」

井の頭公園のカイツブリ

山下倫一

梅雨入りしました。毎日井の頭公園を歩き写真を撮っている私としては、梅雨はあまり好きでない季節です。さて、前は口には「トチの木」の赤い実を^{くわ}啜っている「ヒヨドリ」の写真をお届けいたしました。井の頭公園には「ヒヨドリ」を始め「オオタカ」「カラス」「カイツブリ」など公園で子育てをして1年中見ることのできる^{りゅうちよう}留鳥もたくさんいます。



その中から、今日は「カイツブリ」のヒナと幼鳥の様子をご紹介します。

カイツブリは2月ごろから巣を作りながら相手を見つけ、4月ごろから産卵を始めます。卵は産卵から21日目に^{ふか}孵化します。水の上に巣があるので、産卵、孵化、育つ過程の全てを見ることが出来ます。私も見ましたが卵が割れ、幼鳥が出てくる瞬間も見ることが出来ます。感動します。今年は池の周り6ヶ所に巣をつくりました。7アンの方々は毎日6ヶ所を周りチェックしています。その方々に聞けばいつ生まれるかがわかります。



卵は毎日1個づつ産み、連続して4~5個産みます。したがって、^{ふか}孵化の様子は5日間にわたって見ることが出来ます。時期になるとカイツブリ7アンはもちろん公園を散歩している方々も巣の中を^{のぞ}覗き込み「七井橋のカイツブリ卵の色が変わって来たので明日^{あした}生まれそうだ」とか、「藤棚のカイツブリは今朝6時ごろ^{ふか}孵化した」などと情報が飛び交います。しばらくすると「今朝は4羽の幼鳥を連れ、巣を離れて泳ぎ出した」など、会話が交わされます。



現在はすべての巣で^{ふか}孵化が終わり、しばらくすると親の背中にヒナが乗り泳ぎ出します。次には親を先頭にヒナが続いている可愛い光景を見ることが出来ます。

池にはスポン、ヘビなど、時にはカラスまでカイツブリの卵を^{おそ}襲います。私もヘビとカラスが襲った場面を見ました。ヘビは木の上から垂れ下がり巣に近づこうとしましたが、距離が足りずに^{あきら}諦めました。カラスはしっかり卵を^{くわ}啜り飛び去って行きました。そのほか最初に産まれたヒナと5日目に産まれたヒナの体の大きさが違うためエサがもらえず、最後の1羽は育たなかったこともあり。自然界の厳しさをくぐり抜けたものだけが生き残る厳しい世界です。



カイツブリは年に3回卵を産みます。去年は10月中旬に4回目も産んだカップルもいました。^{かえ}孵りましたが、やはり寒いせいか育ちませんでした。「カイツブリ」だけでもこれだけのさまざまな出来事を見ながら今日も6時に家を出て公園を散歩しながら写真を撮っています。